

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2015-112177(P2015-112177A)
 【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報2015-040
 【出願番号】特願2013-254697(P2013-254697)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月27日(2017.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、未だ開始していない可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と

、
可変表示を実行する可変表示実行手段と、

前記保留記憶手段が記憶する前記保留情報に対応する保留表示を表示する保留表示手段と、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を制御する表示態様制御手段と、
 を備え、

前記表示態様制御手段は、前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を変化させることが可能であり、

前記保留表示の表示態様には、通常態様と、前記通常態様とは異なる特殊態様と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって、前記有利状態になる割合を予告する予告態様と、が含まれ、

前記予告態様として、前記有利状態となる期待度の高い特別予告態様があり、

前記特別予告態様は、複数タイミングのうちいずれかのタイミングで表示され、該タイミングにより表示される割合が異なり、

前記表示態様制御手段は、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様が前記通常態様であるときよりも前記特殊態様であるときの方が当該保留表示の表示態様を前記予告態様に変化させる割合が高くなるように、前記保留表示の表示態様を前記予告態様に変化させ、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を複数タイミングのうちいずれかで前記特殊態様にし、当該保留表示の表示態様を前記複数タイミングのうち第1のタイミングで前記特殊態様にするとときと前記第1のタイミングよりも遅い第2のタイミングで前記特殊態様に変化させるときとで前記有利状態になる割合が異なるように、前記保留表示の表示態様を制御する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(A) 上記目的を達成するための遊技機は、

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、未だ開始していない可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と

、
可変表示を実行する可変表示実行手段と、

前記保留記憶手段が記憶する前記保留情報に対応する保留表示を表示する保留表示手段と、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を制御する表示態様制御手段と、
を備え、

前記表示態様制御手段は、前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を変化させることが可能であり、

前記保留表示の表示態様には、通常態様と、前記通常態様とは異なる特殊態様と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって、前記有利状態になる割合を予告する予告態様と、が含まれ、

前記予告態様として、前記有利状態となる期待度の高い特別予告態様があり、

前記特別予告態様は、複数タイミングのうちのいずれかのタイミングで表示され、該タイミングにより表示される割合が異なり、

前記表示態様制御手段は、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様が前記通常態様であるときよりも前記特殊態様であるときの方が当該保留表示の表示態様を前記予告態様に変化させる割合が高くなるように、前記保留表示の表示態様を前記予告態様に変化させ、

前記保留表示手段が表示する前記保留表示の表示態様を複数タイミングのうちのいずれかで前記特殊態様にし、当該保留表示の表示態様を前記複数タイミングのうちの第1のタイミングで前記特殊態様にするときと前記第1のタイミングよりも遅い第2のタイミングで前記特殊態様に変化させるときとで前記有利状態になる割合が異なるように、前記保留表示の表示態様を制御する、

ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するための他の態様の遊技機は、

遊技領域に設けられた始動領域（例えば、第1始動入賞口や第2始動入賞口など）に遊技媒体（例えば、遊技球など）が進入した後に識別情報（例えば、特別図柄や飾り図柄など）の可変表示を開始することを許容する開始条件が成立したことに基づいて識別情報の可変表示を実行して表示結果を導出し、当該表示結果として予め定められた特定表示結果（例えば、大当り図柄となる特別図柄や大当り組合せの確定飾り図柄など）を導出したときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態など）になる遊技機（例えば、パチンコ遊技機1など）であって、

前記始動領域に前記遊技媒体が進入したにもかかわらず前記開始条件が成立していない識別情報の可変表示について保留情報を記憶する保留記憶手段（例えば、第1特図保留記憶部及び第2特図保留記憶部など）と、

前記開始条件が成立した識別情報の可変表示に対応する前記保留情報に基づいて識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段（例えば、ステップS112、S113の処理を行うCPU103やステップS171、S172の処理を行う演出制御用CPU120など）と、

前記保留記憶手段が記憶する前記保留情報に対応して保留表示領域（例えば、第1保留表示領域5Haや第2保留表示領域5Hbなど）に特定表示（例えば、保留表示図柄など）を表示する保留表示手段（例えば、第1保留表示領域5Haや第2保留表示領域5Hb

に保留表示図柄を表示する画像表示装置 5 など)と、

前記保留表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を制御する表示態様制御手段(例えば、保留表示図柄の表示色を制御する演出制御用 CPU 120 など)と、を備え、

前記表示態様制御手段は、前記保留表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を現在の表示態様から他の表示態様に変化させ(例えば、保留表示図柄の表示色を変化させるなど)、

前記特定表示の表示態様には、通常態様(例えば、青色など)と、前記通常態様とは異なる特殊態様(例えば、白色及び灰色など)と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって、前記特定遊技状態になる割合を予告する予告態様(例えば、黄色、緑色、赤色、及び、虹色など)と、が含まれ、

前記表示態様制御手段は、

前記保留表示手段が表示する前記特定表示の表示態様が前記通常態様であるときよりも前記特殊態様であるときの方が当該特定表示の表示態様を前記予告態様に変化させる割合が高くなるように、前記特定表示の表示態様を前記予告態様に変化させ(例えば、図 25 ~ 図 44 の各保留表示パターン決定テーブルにおいて、青色から予告態様の表示色に変化するパターンを含む保留表示パターンの決定割合の合計値(又は平均値)よりも、灰色又は白色から予告態様の表示色に変化する態様を含む保留表示パターンの決定割合の合計値(又は平均値)それぞれの方が高くなるようにするなど)、

前記保留表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を複数タイミングのうちのいずれかで前記特殊態様にし、当該特定表示の表示態様を前記複数タイミングのうちの第 1 のタイミングで前記特殊態様にするときと前記第 1 のタイミングよりも遅い第 2 のタイミングで前記特殊態様に変化させるときとで前記特定遊技状態になる割合が異なるように、前記特定表示の表示態様を制御する(例えば、構成 18 など)、

ことを特徴とする。

【**手続補正 3**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0009

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0009**】

(2) 上記目的を達成するため、さらに他の態様に係る遊技機は、

遊技領域に設けられた始動領域(例えば、第 1 始動入賞口や第 2 始動入賞口など)に遊技媒体(例えば、遊技球など)が進入した後に識別情報(例えば、特別図柄や飾り図柄など)の可変表示を開始することを許容する開始条件が成立したことに基づいて識別情報の可変表示を実行して表示結果を導出し、当該表示結果として予め定められた特定表示結果(例えば、大当り図柄となる特別図柄や大当り組合せの確定飾り図柄など)を導出したときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば、大当り遊技状態など)になる遊技機(例えば、パチンコ遊技機 1 など)であって、

前記始動領域に前記遊技媒体が進入したにもかかわらず前記開始条件が成立していない識別情報の可変表示について保留情報を記憶する保留記憶手段(例えば、第 1 特図保留記憶部及び第 2 特図保留記憶部など)と、

前記開始条件が成立した識別情報の可変表示に対応する前記保留情報に基づいて識別情報の可変表示を実行する可変表示実行手段(例えば、ステップ S 112、S 113 の処理を行う CPU 103 やステップ S 171、S 172 の処理を行う演出制御用 CPU 120 など)と、

前記保留記憶手段が記憶する前記保留情報に対応して保留表示領域(例えば、第 1 保留表示領域 5 H a や第 2 保留表示領域 5 H b など)に特定表示(例えば、保留表示図柄など)を表示する保留表示手段(例えば、第 1 保留表示領域 5 H a や第 2 保留表示領域 5 H b に保留表示図柄を表示する画像表示装置 5 など)と、

実行中の識別情報の可変表示に対応して今回表示領域(例えば、今回表示領域 5 H c な

ど)に前記特定表示を表示する今回表示手段(例えば、保留表示領域5Hcに保留表示図柄を表示する画像表示装置5など)と、

前記保留表示手段及び前記今回表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を制御する表示態様制御手段(例えば、保留表示図柄の表示色を制御する演出制御用CPU120など)と、を備え、

前記表示態様制御手段は、前記保留表示手段及び前記今回表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を現在の表示態様から他の表示態様に変化させ(例えば、保留表示図柄の表示色を変化させるなど)、

前記特定表示の表示態様には、通常態様(例えば、青色など)と、前記通常態様とは異なる特殊態様(例えば、白色及び灰色など)と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって、前記特定遊技状態になる割合を予告する予告態様(例えば、黄色、緑色、赤色、及び、虹色など)と、が含まれ、

前記表示態様制御手段は、

前記保留表示手段及び前記今回表示手段が表示する前記特定表示の表示態様が前記通常態様であるときよりも前記特殊態様であるときの方が当該特定表示の表示態様を前記予告態様に変化させる割合が高くなるように、前記特定表示の表示態様を前記予告態様に変化させ(例えば、各全期間保留表示パターン決定テーブルにおいて、青色から予告態様の表示色に変化するパターンを含む全期間保留表示パターンの決定割合の合計値(又は平均値)よりも、灰色又は白色から予告態様の表示色に変化する態様を含む全期間保留表示パターンの決定割合の合計値(又は平均値)それぞれの方が高くなるようにするなど)、

前記保留表示手段及び前記今回表示手段が表示する前記特定表示の表示態様を複数タイミングのうちいずれかで前記特殊態様にし、当該特定表示の表示態様を前記複数タイミングのうち第1のタイミングで前記特殊態様にするときと前記第1のタイミングよりも遅い第2のタイミングで前記特殊態様に変化させるときとで前記特定遊技状態になる割合が異なるように、前記特定表示の表示態様を制御する(例えば、構成18など)、

ことを特徴とする。